あおぞら

Vol. 48

2020.4月号

Denenchofu Central Hospital Free Paper

田園調布中央病院は新体制でスタートします！

本年4月に石田順朗が院長に就任いたしました

このたび院長職を拝命することとなりました石田順朗です。責任の重さに身の引き締まる思いです。微力ではございますが、全力を尽くす所存でございます。

当院は地域に根ざした小規模急性期病院として、地域医療に尽力してまいりました。しかしながら、未曽有の高齢化社会の到来とともに、当院の果たすべき役割も徐々に変わりつつあります。今後は、患者さま、ご家族の方々、周囲の医療・介護スタッフの皆さまを含めたニーズに応えていく必要があります。

現在、国が提唱している地域包括ケアシステムは、地域の医療・介護機関が緩やかに連携して、こうしたニーズに応えていくことを目指しています。当院は、周辺の医療機関、介護事業所と連携し地域包括ケアシステムの一翼を担ってまいります。

また現在、新型コロナウイルス感染拡大が懸念されております。当院は帰国者・接触者外来を設置しておりませんが、東邦大学医療センター大森病院・感染管理部、および東京労災病院・感染対策チームとの医療連携の下に、地域の感染対策に取り組んでまいります。

さらに、長年の懸案であった新病院建設がいよいよ実現に向けて動き始めます。今後、当院は多摩川駅近隣の多摩川沿いに移転いたします。実際の移転は数年後になりますが、新年度より諸般の準備を進めてまいります。新たなステージに向けて、今年が飛躍の一年となるよう職員一丸となって努めてまいります。

何卒よろしくお願い致します。

院長就任のご挨拶

田園調布中央病院　院長

石田　順朗

Ishida Junro

プロフィール

1990年　東京大学医学部医学科 卒業

1995年　国立大蔵病院　内科

1999年　公立昭和病院　救急医学科

2007年　田園調布中央病院　内科

2011年　田園調布中央病院 総合診療科 兼 副院長

2020年　現職

資　格

日本内科学認定内科医

日本救急医学会救急科専門医

日本臨床栄養代謝学会　認定医・学術評議員

副院長就任のご挨拶

田園調布中央病院　副院長
手塚　正一
Tezuka Masakazu

このたび副院長に就任いたしました手塚正一です。整形外科部長を兼務し、年間２００例の整形外科手術を統括しています。

当院は、各科の医師、看護師、薬剤師など関係する様々な部署との連絡が緊密に行われ、安心して治療を受けていただける体制になっています。

私たちは、総合力で「医療の質」を上げることを目指しています。しかし、医療の質は医療側からの視点だけでは上がりません。患者さまからの貴重なご意見を大切にして、診療現場に還元していくことが重要だと思っております。

今後も、地域医療に貢献する病院として、信頼され、安全で質の高い医療を提供することに全力を尽くしてまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

田園調布中央病院　副院長
富永　幸治
Tominaga Koji

この度、令和２年４月１日付で田園調布中央病院副院長を拝命しました外科の富永幸治です。私は、平成14年４月に外科部長として当院に着任しました。それから18年間にわたり消化器疾患を主に手術や内視鏡検査など行なってまいりました。この18年の間に手術は大きく変化し、低侵襲手術である腹腔鏡下手術を中心に行うようになりました。内視鏡的処置についても胆管結石などの良性疾患のみならず、悪性疾患に対する粘膜切除などの手技も積極的に施行するようになりました。また、癌疾患に対しては必要に応じて化学療法も行なっています。

同じ疾患でも一人ひとりの病状は全く同じではありません。さまざまな治療法からそれぞれに適した方法を行うことによって多くの方が病気から開放されるように、お役に立てればと考えております。

当院の基本方針は救急医療に取り組み、地域の方々と共に地域医療に貢献し、早期発見・予防に努めることです。今後全力を尽くし、これらをさらに実践していく所存でございます。どうぞ宜しくお願いいたします。

名誉院長就任のご挨拶

田園調布中央病院　名誉院長
成瀬　博昭
Naruse Hiroaki

このたび院長職を卒業し、名誉院長を拝命いたしました。２００５年10月より14年半の長きにわたり院長を努めてまいりました。皆さまにはいろいろと、お世話をお掛け致しましたが、お陰様をもちまして無事職務を果たすことが出来ました。ご協力とご指導の賜物と心より感謝し御礼申し上げます。

新しいポストとなりますが、外来、入院の診療業務は今までと同様に継続してまいります。院長外来は「成瀬外来」とし、何らかわることはありません。その上で予てより提案していました『病気にならないために病院へ行こう』という予防医学の推進、未病（病気になる前の状態）を把握する医療として、健診、ドック、ウェルネス外来に力をいれていきたいと思っています。田園調布中央病院は、若い新たな役員スタッフでの船出を迎えますが、これまで通り地域を支え、患者さまを第一に考える駅前病院で有り続けます。引き続き、どうぞ宜しくお願い申し上げます

正しく手洗いできていますか？

家の中や外には、目に見えないたくさんの菌が付着しています。 菌は目に見えないので、知らず知らずのうちに菌をもち込んだり、もち出したり、広げたりすることが考えられます。手洗いは、感染経路を遮断するためにとても大切です。感染を起こすには様々なルートがあります。
口から食べ物とともに感染する「経口感染」、くしゃみや咳とともに見えない小さな粒子となって排出された病原体が鼻や口から感染する「飛沫感染」（空気感染）、汚染された物に触って感染する「接触感染」があります。様々な感染経路がありますが、基本的には手洗いでかなり感染が防げるといわれています。特に接触感染や経口感染の予防には欠かせないことです。

手洗いのタイミング

1. 身体を直に触った後
   身体（洗った後の清潔な手や腕以外の場所）に直接触れた後。
2. トイレに行った後
   トイレで用事を済ませたあとはもちろんのこと、トイレでお化粧を直したり、鏡を見て身なりをチェックするなど、立ち寄っただけでも手をあらいましょう。
3. 咳やくしゃみ、鼻水をかんだ後、タバコを吸った後、食事の後
   人の体液には食中毒を起こす細菌やウイルスが存在する可能性がありますので必ず手を洗いましょう。
4. 使い捨て手袋を装着する前
   汚れた手で使い捨て手袋を触ると手袋その物を汚してしまします。必ず手を洗ってから装着してください。
5. 汚れた器具・器材を触った後
   ゴミ箱などの容器も含みます。作業と作業の間に汚れものを触った場合には必ず手を洗ってください。

手洗い前の注意事項

- ✓ 爪は短く切っていますか？
- ✓ マニキュアは塗っていませんか？
- ✓ 時計や指輪をはずしていますか？

①手のひらをあわせて
５秒間ゴシゴシ洗う

②手の甲を伸ばすように
５秒間ゴシゴシ洗う

③指先やつめの間も渦を描くように
５秒間ゴシゴシ洗う

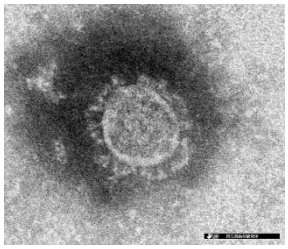
④指の間も十分に
５秒間ゴシゴシ洗う

⑤親指を手のひらでねじるように
５秒間ゴシゴシ洗う

⑥手首も忘れずに
５秒間ゴシゴシ洗う

新型コロナウイルス感染症への対策について

■ 新型コロナウイルスとは　厚生労働省ホームページより



ウイルス性の風邪の一種で
発熱や喉の痛み、咳が1週間前後長引いたり強いだるさを訴える方が多いことが特徴です。
感染から発症までの潜伏期間が1日～12.5日（多くは5日～6日）といわれています。

■ 感染の症状は？　米疾病対策センターCDCより

【全身】
・熱
・倦怠感

【呼吸器系】
・くしゃみ
・咳
・息切れ等
・喉の痛み
・鼻水

【腎臓】
・機能低下

【循環器系】
・赤血球や白血球の減少

【腸】
・下痢

【重症例】
・肺炎
・腎不全
・重症急性呼吸器症候群（SARS）
・死

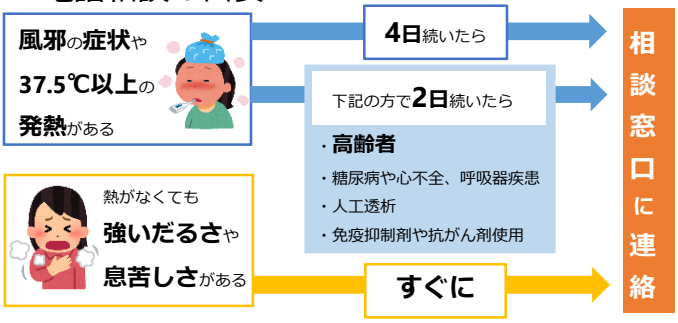
特に高齢者等、重症化のリスクが高くワクチンや治療薬がない。

■ 日常生活で気をつけること

新型コロナウイルスは、感染者のくしゃみや咳のしぶきで感染する飛沫感染や飛沫に触れた手で口や鼻に触れ粘膜からうつる接触感染で感染します。

- ✓ まずは手洗い。こまめに石鹸や消毒液で洗う。
- ✓ 咳などの症状がある方は咳エチケットを守る。
- ✓ 持病、ご高齢の方は人混みを避ける等注意する。
- ✓ 発熱等、風邪症状がでたら学校や会社を休む。

■ 電話相談の目安



■ 情報・相談公式LINE

厚生労働省は新型コロナウイルスに関する情報提供用**公式LINEアカウント**を開設。感染症の様々な情報収集や医者への相談等に利用することができます。

▲ 登録用QRコード

▲ 厚生省公式LINE

■ 東京都の相談窓口（帰国者・接触者相談窓口）

発熱が続いている方や、呼吸器症状がある方、渡航歴や患者との接触歴がある方は「帰国者・接触者電話相談センター」にご連絡ください。

受付時間	設置機関	電話番号
平日 昼間 9:00～17:00	大田区保健所感染症対策課	03-5744-1360
平日 夜間 17:00～翌9:00 土日祝 終日	都・特別区・八王子市・町田市合同電話相談センター	03-5320-4592

上記以外の新型コロナウイルス感染症に関する一般相談については下記へ連絡をお願いします

◎新型コロナウイルスに係わる東京都電話相談窓口（コールセンター）
電話番号：**03-5320-4509**　受付時間：9:00～21:00（土日祝含）
◎新型コロナウイルスに係わる厚生労働省電話相談窓口（コールセンター）
電話番号：**0120-565653**　受付時間：9:00～21:00（土日祝含）
◎大田区保健所
電話番号：**03-5744-1263**　受付時間：8:30～17:00（平日のみ）

新学期は、なぜ四月？

季節が切り替わろうとする今、新たな環境や新しい人々との出会いに胸を膨らませている方やご家族も多いことでしょう。

田園調布中央病院も四月に新入職員を迎えます。さて、日本では四月に新学期を迎えることが当たり前とされていますが、海外の多くは九月に新学期が始まります。しかし、なぜ日本では新学期＝四月なのでしょうか。

現代ほど教育の制度が整っているわけではないものの、寺子屋や藩校、私塾など江戸時代には子供たちが学ぶ場所は存在していました。ただ、当時は現在のようになるに入学といった決まりはありませんでした。

明治十九年に国の会計年度が四月始まりになったことをきっかけに、高等師範学校のスタートが変更になりました。大正時代に入ると、高校や大学でも四月始まりを取り入れるようになり次第に定着していったそうです。

春風の心地よい季節。新しい仲間も加わり、我々もこの一年、さらに成長していけますよう、気持ちを新たに職務に励んでまいります。

あおぞら　田園調布中央病院 広報誌あおぞら（2020年4月号）　発行　医療法人社団七仁会　田園調布中央病院
〒145-0071東京都大田区田園調布2-43-1 http://denenchofu-hp.jp/
TEL.03-3721-7121（代表）FAX.03-3722-6435